

第317回薬事委員会報告

日 時 令和8年 8月 5日 (水) 15:00～15:30

場 所 中央棟4階会議室

出席者 川浪、藤田、今福、伊藤、菅原、戸川、小松、兼重、池内、諸藤

欠席者 高松、栗山

議 事

I. 新規採用医薬品

	適否	製品名	削除医薬品
1	適	トレムフィア皮下注 200mg ペン	ベルスピティ錠2mg

※【眼科自由診療導入に伴う新規採用（報告）】

製品名	薬価	一般名	薬効	メーカー
アップニークミニ点眼液 0.1%	未収載	オキシメタゾリン塩酸塩	後天性眼瞼下垂治療剤 (ミューラー筋作用・眼瞼挙上点眼薬)	参天製薬
リジュセアミニ点眼液 0.025%	未収載	アトロピン硫酸塩水和物	近視進行抑制点眼剤	参天製薬

II. 後発医薬品 (GE) への切替

	適否	AG/BS	製品名	削除医薬品
1	適	-	プラミペキソール塩酸塩錠 0.125mg 「DSEP」	ビ・シフロール錠0.125mg
2	適	-	プラミペキソール塩酸塩錠 0.5mg 「DSEP」	ビ・シフロール錠0.5mg
3	適	AG	ビラスチンOD 錠 20mg 「EP」	ビラノアOD錠20mg

III. 試薬・製剤原料等

特になし

IV. 新規院内特殊製剤

特になし

V. 臨時購入医薬品 (院内専用 患者限定)

新規購入品目 (令和8年5月9日～令和8年7月3日)

	製品名	申請科	申請理由
1	エキシデンサー皮下注 100mg ペン	呼吸器内科	気管支喘息 (難治性喘息)
2	アトガム点滴静注液 250mg	腫瘍・血液・感染症内科	中等症以上の再生不良性貧血
3	オルツビーオ静注用 4000	腫瘍・血液・感染症内科	血液凝固Ⅷ因子欠乏
4	ブーレンレップ点滴静注用 100mg	腫瘍・血液・感染症内科	多発性骨髄腫
5	マイロターグ点滴静注用 5mg	腫瘍・血液・感染症内科	再発又は難治性の CD33 陽性の急性骨髄性白血病
6	ルンスミオ皮下注 5mg, 45mg	腫瘍・血液・感染症内科	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫
7	テビムブラ点滴静注 100mg	消化器外科	根治切除不能な進行・再発の食道癌
8	ゼボジアカプセル 0.92mg	消化器内科	潰瘍性大腸炎
9	ゼボジアカプセルスターターパック	消化器内科	潰瘍性大腸炎
10	レベスティブ皮下注用 3.8mg	消化器内科	小腸大腸型クローン病、短腸症候群
11	ガラントーゼ散 50%	小児科	乳糖不耐症
12	ウゴービ皮下注 0.5mg ペン 2.0MD	内分泌・糖尿病内科	2 型糖尿病、高度肥満症
13	ジャディアンス錠 25mg	内分泌・糖尿病内科	心不全、2 型糖尿病
14	ボンビバ静注 1mg シリンジ	内分泌・糖尿病内科	骨粗鬆症
15	ミニリンメルト OD 錠 25μg	内分泌・糖尿病内科	中枢性尿崩症
16	ルムジェブ注ミリオペン HD	内分泌・糖尿病内科	膵性糖尿病
17	ジスバルカプセル 40mg	脳神経外科	遅発性ジストニア
18	ゾルゲンスマ髄注	脳神経内科	脊髄性筋萎縮症 (SMA)

※臨時購入申請書の提出について
臨時購入は、原則として臨時購入申請書の提出を確認した後に手続きを開始します。ただし、緊急時などやむを得ない場合は、申請書を後日提出とすることがあります。
なお、後日提出となった場合は、速やかに申請書をご提出ください。提出が著しく遅れた場合は、提出遅延の理由書をご提出いただきます。

VI. 院外専用医薬品（令和8年7月3日時点）

イドビンス配合錠	タルセバ錠 25mg	トレムフィア皮下注 200mg ペン
ネフィー点鼻液 1mg	ネフィー点鼻液 2mg	プリビナ点眼液 0.5mg/mL

VII. 販売名変更

	販売名変更となる採用薬	変更予定時期	切替採用薬
1	リマプロストアルファデクス錠 5μg「サワイ」	2026年8月	リマプロスト アルファデクス錠 5μg「サワイ」

VIII. 販売中止

（販売中止とそれに伴う切替採用申請）

	販売中止となる採用薬	販売中止予定時期	切替採用薬
1	ムコサールドライシロップ 1.5%	2026年12月	アンブロキソール塩酸塩 DS 小児用 1.5%「タカタ」
2	トアラセット配合錠「Me」	2026年9月	トアラセット配合錠「JG」
4	ブレディニン OD 錠 50mg	2027年4月	ブレディニン錠 50mg
5	ロイナーゼ注用 5000	2028年12月	-
6	ブスコパン錠 10mg	2026年12月	ブチルスコポラミン臭化物錠 10mg「ツルハラ」
7	セスデン注 7.5mg	2026年12月	-
8	ブラダロン錠 200mg	2026年11月	-
9	ロスバスタチン OD 錠 2.5mg「DSEP」	2027年4月	ロスバスタチン錠 2.5mg「DSEP」
10	ロスバスタチン OD 錠 5mg「DSEP」	2027年2月	ロスバスタチン錠 5mg「DSEP」

IX. 供給遅延・供給停止等のお知らせ

（供給遅延・供給停止等とそれに伴う切替採用申請）

	供給遅延・供給停止となる採用薬	一般名	薬効	切替採用薬
1	献血グロベニン-I 静注用 2500mg	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン G	血漿分画製剤（静注用人免疫グロブリン製剤）	献血グロベニン-I10%静注 5g/50mL
2	献血グロベニン-I 静注用 5000mg	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン G	血漿分画製剤（静注用人免疫グロブリン製剤）	献血グロベニン-I10%静注 10g/100mL

X. 副作用報告

2026年5月～6月の副作用報告件数は17件であり、そのうち非重篤なものは15件、重篤なものは2件（下記記載）であった。

副作用発現日	年齢	性別	被疑薬	症状	転帰	報告者	PMDA 副作用報告
4/24	84	女	ケサンラ点滴静注液 350mg	顔面紅潮、顔面浮腫 意識朦朧、呼吸苦	軽快	薬剤師	有
5/28	79	女	ロキソプロフェン、プレドニゾロン	消化管出血、出血性ショック	軽快	薬剤師	無 [※]

注）下血・出血性ショック微候で緊急入院、以前より被疑薬服用、腸管内持続出血や潰瘍等には指摘されておらず、被疑薬との関与の可能性は確定的ではないため、報告なし

※医療用語では明確な定義はないが、広辞苑によれば回復は健康状態に戻ること、軽快は病気が少しよくなることを意味する。

XI. 同種同効薬：採用医薬品の適正化
該当なし

XII. その他

1. 使用量低頻度医薬品の院内削除について
※基本的には院外処方では継続して処方可能
※今後の薬事委員会において、各診療科から新規採用の申請があった際の削除対象品目として取り扱わせていただく予定

診療科	薬剤名	備考
-	タチオン錠 50mg	2025 年 4 月 1 日～1 名 (102 錠) 使用 ※持参薬切り替え 2026 年 5 月に 294 錠廃棄
小児科	ガラントーゼ散 50%	2025 年 4 月 1 日～1 名 (100g) 使用 ※持参薬切り替え
消化器内科	マヴィレット配合錠	院内最終処方：2025/4/18、以降処方なし
精神神経科	ジプレキサ細粒 1%	2025 年 4 月 1 日～3 名 (計 45g) 使用、2026 年 6 月に期限切れで廃棄
小児科	フルミスト点鼻液	第 314 回薬事委員会にて採用されたが、使用実績は 1 本のみ (1 箱 10 本入) 2025 年 12 月に 9 本 (45,000 円) 廃棄
腎泌尿器外科	スーテントカプセル 12.5mg	院内最終処方：2024/12/16、院内処方なし

2. 適応外・禁忌医薬品使用に係る申請 (2026 年 5～6 月、計 27 件)

		申請科	薬品名	使用目的	倫理委員会審議の 必要性
1～18	適応外	心臓血管外科	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g	縦隔炎予防のため閉胸時にペー スト状にして塗布	なし(薬事委員会)
19～20	適応外	整形外科	リファンピシNCAPセル 150 mg	化膿性関節炎 (セメント混入)	なし(薬事委員会)
21	適応外	脳神経外科	ストレプトマイシン硫酸塩注射用 1 g	術後難治性髄液漏	なし(薬事委員会)
22	適応外	消化器外科	オクトレオチド酢酸塩皮下注 100 μg	術後リンパ漏	なし(薬事委員会)
23	適応外	消化器外科	エホチール注 10mg	術後リンパ漏	なし(薬事委員会)
24～26	適応外	救命センター 形成外科	ゲンタマイシン硫酸塩注 40mg	重傷軟部組織感染症 (iSAP)	なし(薬事委員会)
27	適応外	小児科	アルダクトン A 細粒 10%	腎性尿崩症	なし(薬事委員会)

3. 薬事ニュース No. 119 (資料 1)

4. 地域支援・医薬品供給対応体制加算について
2026 年 6 月～後発医薬品使用体制加算は廃止、地域支援・医薬品供給対応体制加算へ変更となる。
加算 1：87 点 (後発医薬品使用割合が 90%以上)
その他、供給不足時の対応体制や院内掲示等の算定要件有り

	4 月	5 月	6 月
全医薬品の規格単位数量 ①	682,301	633,405	665,451
後発医薬品あり先発医薬品及び後発医薬品の規格単位数量 ②	238,555	231,495	238,830
後発医薬品の規格単位数量 ③	226,331	219,666	225,510
後発医薬品の割合 ③/②	94.9%	94.9%	94.4%

5. バイオ後続品使用体制加算について

・(1)及び(2)のそれぞれの成分について、以下のア及びイを満たすこと。なお、直近1年間に当該保険医療機関において調剤した先行バイオ医薬品及びバイオ後続品の規格単位数量の合計が50未満の場合においては、当該成分に限り、ア又はイに定める基準未満であっても差し支えないが、 ア又はイに掲げる成分のうち少なくとも1つ以上の成分については、規格単位数量の合計が50以上であること。			
(1)に掲げる各成分の バイオ後続品 の規格単位数量			
ア	(1)に掲げる 先行バイオ医薬品及びバイオ後続品 の規格単位数量の合計（バイオ後続品の適応のない患者に対して使用する先行バイオ医薬品を除く）	≥	80%
(2)に掲げる各成分の バイオ後続品 の規格単位数量			
イ	(2)に掲げる 先行バイオ医薬品及びバイオ後続品 の規格単位数量の合計（バイオ後続品の適応のない患者に対して使用する先行バイオ医薬品を除く）	≥	50%
(1) 80%以上を基準とする成分		(2) 50%以上を基準とする成分	
(イ) エボエチン	(ハ) インスリングルルギン	(イ) ソマトロピン	(ト) インスリンアスパルト
(ロ) リツキシマブ	(ト) ダルベボエチン	(ロ) インフリキシマブ	(チ) アダリムマブ
(ハ) トラスツマブ	(チ) フィルグラスチム	(ハ) エタネルセプト	(リ) アフリヘルセプト
(ニ) テリバラチド		(ニ) アガルシダーゼベータ	(ヌ) ウステキヌマブ
(ホ) ラニズマブ		(ホ) ペパシズマブ	(ル) ペグフィルグラスチム
		(ヘ) インスリンリスプロ	(ヲ) トシリズマブ

※バイオ医薬品の使用状況（2026年6月実績分）（資料2）

6. 院内廃棄薬について

2026年5月と6月における院内廃棄薬の総金額は、584,964円であった。上位品目は、ラスリテック点滴静注用1.5mg（¥6,982/V、32V、計223,424円）、ロイナーゼ注用5000（¥4,850/V、14V、計67,900円）、フィルグラスチムBS注300μgシリンジ「NK」（¥5,351/V、8V、計42,808円）であった。廃棄理由はすべて期限切れであった。

7. その他

・2026年5月29日現在の総採用品目数は2,500品目であり、うち後発医薬品は457品目（18.3%）である。

次回薬事委員会は、令和8年10月7日（水）15時より中央棟4階 会議室で行う。